

知っておきたい OITA 防災

今日から始めよう、「防災対策」!

まずは、日ごろから一人ひとりが防災意識を高め“自分の周りにどのような危険が及ぶのか”を考え被害を少なくするために行動しましょう。

第6回 台風・豪雨時に備えて ハザードマップと一緒に 「避難行動判定フロー」を確認しましょう

避難行動判定フロー

不安や危険を感じたら、早めに危険な場所から避難しましょう。

ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。**着色されていない所でも**災害が起こる可能性があります。



洪水ハザードマップで
自宅を確認し、印を付けます。

自宅および周辺に
色が塗られていますか?

はい

災害の危険があるので、**原則として***、
自宅の外に避難が必要です。



避難する人は避難に時間が
かかりますか?

はい

安全な場所に住んでいて
身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

警戒レベル3の場合
安全な親戚や知人宅
に避難

いいえ

警戒レベル3の場合
指定緊急避難場所へ
避難

いいえ

洪水ハザードマップを確認しよう!

自分や大切な人の居場所の安全度を確認しておきましょう! 洪水ハザードマップは市ホームページから確認できます。



洪水ハザードマップはこちら▶

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

※次の場合は、災害の危険があっても、自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。

● 浸水の危険がある場合…

- ① 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる
- ③ 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

● 土砂災害の危険がある場合…

十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる

いいえ

安全な場所に住んでいて
身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

警戒レベル4の場合
安全な親戚や知人宅
に避難

いいえ

警戒レベル4の場合
指定緊急避難場所に
避難

出典 内閣府ホームページ (<http://www.bousai.go.jp/>)

「避難行動判定フロー」(内閣府) (<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>)をもとに大分市が作成

- ① 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ② 避難先は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ③ 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。
- ④ 避難経路の危険性についてもあらかじめ調べておきましょう。

「避難行動判定フロー」はあくまでも目安です。一人ひとりの早めの避難行動が命を守ることに繋がります。

防災危機管理課 ☎537-5664

監修：大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター

表紙の
ことば

まだまだ暑さが続いています。だんだんと季節は秋へと移ってきています。熱中症などに気を付けながら、家族や少人数で散歩やウォーキングを通じて秋を見つけませんか。